



題字 藤本利夫著

発行2018年4月1日 <毎月1日発行>
 1988年7月9日創刊
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 e-メール shiga.minken@gmail.com
 HP: http://shiga-minken.jimdo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

戦争許さない673筆

9条は戦争の反省から生まれた、佛教大学研究員 田中哲

憲法9条の改悪を許さないため、「戦争させない甲賀市民の会」は、2月17日から19日の3日間、土山町の田村神社の祭礼で「改憲を許さない3000万人署名」に取り組みました。森陰には少し雪も残り、北風の当たる日陰では凍える寒い日もありましたが42人が参加し673筆の署名の協力を得ました。一つの取り組みにこれだけの参加者と署名数を得ることは私の知る限り初めてでした。平和憲法守れの力強さを感じました。

ある方は「憲法9条のもので自衛隊は一人も人を殺さず、一人も殺されなかった」の呼びかけに「家において黙ってたらアカン」とわざわざ戻ってきて署名に応じてくれました。

今、ベストセラーになっている本に『不死身の特攻兵・軍神はなぜ上官に反抗したか』(鴻上尚史・講談社現代新書)があります。十万冊単位で売れているので読まれた方もおられると思います。話はこうです。陸軍の特攻兵佐々木友次さんは、9回の特攻出撃の命令を受けます。そして毎回帰還して、上官からひどく叱責されます。

・・・レイテ湾には、敵戦艦はたくさん

いたんだ。すぐに体当たりしろ。弾を落として帰るだけなら、特攻隊でなくてもいいんだ。貴様は特攻隊なのに、ふらふら帰ってくる。貴様は、なぜ死なんのだ! 船はどれでもいい。見つけ次第突っ込め。今度帰ったら、承知せんぞ。(125頁)

教育勅語のもので教育され、「死(軍人の命)は鴻毛より軽しと心得よ」と謳われた軍人勅諭の精神をたたき込まれた日本軍の姿が描かれています。

一方、中国大陸での日本人の墜行は枚挙にいとまがありませんが、例えば本多勝一さんの『南京への道』(朝日文庫)では次のような描写があります。

・・・無錫に向かう日本軍に放火された自分たちの家々に火の手が大きく上がるのを見て耐えられなくなった二人の男が、日本兵の囲みを命がけて突破して家の方へ行くとした。行かせまいとする兵隊らともみ合いになったが、間もなく三人は燃えさかる一軒の中に押し込まれ扉を外から閉められた。殆ど直後にその家は屋根が焼け落ちた。一歳の男の赤ん坊がいた。騒ぎに驚いて大声で泣き出した。抱いていた母親から赤ん坊を奪った兵隊が、火の中へ放り込んだ。泣き叫ぶ母親

は、水路の中へ銃剣で突き落とされた。(86頁)

日本で、アジアで、そして世界で何十何百万人の人たちが戦争で亡くなっています。上の2つの話は戦争の一断面ですが、戦争とはこのようなものだと思わなければなりません。「憲法は押しつけられた」「9条は現実には合わない」と改憲に走る今こそ、憲法9条は、何よりもこうした戦争の反省の上にたつて出来たものであることに確信を持つことです。

「自主憲法」も「加憲」も戦争の真摯な反省から生まれてこないものです。憲法9条を守る署名活動は、戦争で亡くなった人、生きたいと願いつながら生きられなかった人たちからの、今を生きる私たちへのどう生きるかの問いかけです。(たなか さとる)

《 今月の紙面 》

- ・戦争許さない673筆～9条は戦争の反省から生まれた/田中哲 …P1
- ・「ごんぎつね」と「おれ」～2017滋賀の教育のつどい「国語」分科会のレポートより /中澤 恵理 …P2, 3
- ・琵琶湖の魚を守るために /角田 純一郎 …P4, 5
- ・沖縄で今更知ったこと～地域民研の全国交流集会に参加して /茶谷 淑子 …P6, 7
- ・滋賀の教育動向 1・2月 … P8